

2020年度 内閣府青年国際交流事業 事業概要一覧と応募方法について

すべての事業でプログラム本体以外に事前事後活動がおこなわれ、全日程の参加が必須となります。また、応募資格などは、事業ごとに他にも詳細がありますので、内閣府ホームページに掲載されている該当事業の「応募要領」「事業概要」をご確認ください。

参考 内閣府ホームページ (URL : <https://www8.cao.go.jp/youth/kouryu/bosyu-new.html>)

事業名	①	②	③	④	⑤	⑥	
	「東南アジア 青年の船」事業 (第47回)	「世界青年の船」事業	国際社会青年 育成事業 (第2回)	日本・中国青年親善 交流事業(第42回)	日本・韓国青年親善 交流事業(第34回)	地域課題対応人材育成 事業「地域コアリーダー プログラム」	
交流国 (予定)	ASEAN 全 10 カ国 うち以下 4 カ国を 訪問 ・マレーシア ・フィリピン ・インドネシア ・ベトナム	カナダ、コスタリカ、 インド、ポーランド、 オマーン、クウェート、 ロシア、南アフリカ、 トンガ、スリランカ うちインド、スリランカを 訪問	I 欧州・アフリカ ・チェコ ・エストニア II 北米・中南米 ・メキシコ ・ドミニカ共和国 ※訪問は I~II のうち 1 地域(2 カ国)	中国	韓国	I 高齢者分野 ・オランダ II 障害者分野 ・ニュージーランド III 青少年分野 ・スウェーデン ※訪問は I~III のうち 1 カ国	
研修日程	事前	8月3日~7日	9月18日~23日	6月30日~7月4日	8月24日~28日	8月24日~28日	7月17日~19日
	出発前/出航前	10月25日~28日	2021年1月23日~24日	9月7日~8日	11月15日~16日	11月2日~3日	11月25~26日
	本体 プログラム	日本国内活動 10月29日~11月5日 (8日間) 船内・訪問国活動 11月6日~12月17日 (42日間)	陸上研修(6日間) 2021年1月25日~30日 船上研修(34日間) 2021年1月31日 ~3月5日	9月9日~26日 (18日間)	11月17日~28日 (12日間)	11月4日~18日 (15日間)	11月27日~12月6日 (10日間)
	帰国後	12月18日~19日	2021年3月5日~6日	9月27日~10月2日	11月29日~30日	11月19日~20日	12月7日~8日 2021年2月13日~16日

募集人員		39人	120人	各地域 18人 (合計 36人)	25人	25人	各国 8人 (合計 24人)	
資格要件 など	国籍	日本国籍を有すること						
	年齢 (2020年4月1日 時点)	18歳～30歳(1989年4月2日～2002年4月1日生まれ)				23歳～40歳 (1979年4月2日～ 1997年4月1日生まれ)		
資格要件 など	語学力	交流活動を円滑におこなえる英語力を有すること			訪問国の公用語による簡単な日常会話能力 があれば望ましい(語学力がなくても選考で 不利になることはない)		高齢者、障害者または 青少年分野の社会活動 経験を原則3年以上有 すること	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、職域、学校または青少年団体等において、帰国後も事業参加の経験を生かして社会貢献活動を活発におこなうことが期待できる人※1 ・各種研修を含む、事業の全日程に参加できる人 ・過去に内閣府のおこなう青年国際交流事業に参加したことのある人は応募できません(地域コアリーダープログラムを除く) 						
第2次 選考 ※2	試験日時	東京会場 5月23日(土) 大阪会場 5月30日(土)	東京会場： 6月6日(土)または 6月7日(日) 大阪会場： 6月13日(土)	東京会場： 5月17日(日) 大阪会場： 5月24日(日)	東京会場： 5月16日(土) 大阪会場： 5月23日(土)	東京会場： 5月15日(金)または 5月16日(土) 大阪会場： 5月23日(土)		
	場所	東京：内閣府 中央合同庁舎8号館(東京都千代田区永田町1-6-1) 大阪：未定						
参加費※3		30万円程度	30万円程度※4	22～23万円程度 (訪問地域により異なる)	11万円程度	9万円程度	15～17万円程度 (訪問地域により異なる)	

応募窓口	公益社団法人ガールスカウト日本連盟(全国的組織を持つ青少年団体枠)
応募方法	ガールスカウト日本連盟海外研修申込書(成人用)・参加申込書・作文・健康診断書を郵送で日本連盟に提出する。(提出書類は、返却されません。)応募方法や提出書類等の詳細については、4～5 ページ参照。
日本連盟 応募締め切り	<u>3月25日(水) 必着</u>

- ※1 内閣府青年国際交流事業の参加者が自主的に組織している「日本青年国際交流機構」では、会員たちがそのネットワークを生かしながらさまざまな社会貢献活動をおこなっている。詳細はホームページ(<https://www.iyeo.or.jp/>)参照。(入会金は自己負担)
- ※2 第2次選考は、全国的青少年団体または都道府県から推薦された(第1次選考)応募者に対し、内閣府により実施。第2次選考の試験を受けるために必要な交通費、宿泊料等の経費は自己負担。(各事業の第2次選考の詳細については、内閣府ホームページで確認してください。)
- ※3 上記参加費のほか、選考試験や事前研修参加時の旅費、予防接種料、事後活動研修費などは、別途参加者本人の負担となる。
- ※4 「世界青年の船」事業のみ、経済的理由により参加費の納付が困難な場合に参加費の免除を申請することができる(人数に上限あり)。
- ※ 事業概要および応募要領の内容は、2020年度政府予算案に基づく2020年1月時点の予定。訪問国、日程等については、今後変更になることがあるため、最新の情報は、内閣府ホームページにて適宜確認すること。
- ※ 事業の併願について
 - ①「東南アジア青年の船」事業と「世界青年の船」事業は併願できるが、両事業の選考試験を受けなければならない。ただし、参加できる事業は1つの事業に限る。参加申込書に必ず希望順位を記入し、作文は応募事業1つにつき1編作成すること。
 - ②「国際青年育成交流事業」、「日本・中国青年親善交流事業」および「日本・韓国青年親善交流事業」については 複数事業の併願を可能とするが、すべての事業の選考試験を受けなければならない。ただし、参加できる事業は1つの事業に限る。併願を希望する場合は、参加申込書に必ず希望順位を記入し、作文は応募事業1つにつき1編作成すること。
- ※ 長期間のプログラムであるため、所属する学校や会社の了解を事前にとっておくことが望ましい。
- ※ 全国的青少年団体(ガールスカウト日本連盟)および都道府県から同時に応募することはできない。

応募方法について（提出書類は、返却されません）

ガールスカウト日本連盟への応募書類提出と第1次審査について

以下の書類をそろえて、日本連盟へ郵送してください。事業により、必要な書類が異なりますのでご注意ください。

【①～⑤の事業の参加申し込みに通で必要な書類】

- ・ガールスカウト日本連盟海外研修申込書（成人用）
- ・様式1 参加申込書（※様式は内閣府ホームページ（<https://www.cao.go.jp/koryu/>）よりダウンロードすること。パソコンのワープロソフトによる作成を推奨。）
- ・様式2 作文（日本連盟に提出された作文を内閣府にそのまま提出します。必要に応じて、ガールスカウト活動についても書いてください。

※パソコンのワープロソフトによる作成を推奨。）

テーマ：・志望動機

- ・本事業の参加青年として参加することになった場合、

- 1) 事業の活動の中で何をしたいか
- 2) 帰国後その経験をどのようにいかすか

という点を中心に具体的に記述する。題名は自由に設定してよい。

字数：1,200字以内（題名、氏名は字数に含まない）

書式：縦A4判横書きとし、題名・氏名および字数を明記する。

- ・健康診断書 ※2019年4月1日以降に受診したもの（様式は問わない）

※複数の事業を併願する場合：参加申込書と健康診断書は、各1部のみの提出でよい。（2つの事業を併願の場合、応募書類を2部作成する必要はないが、希望順位を明記する。）ただし、作文については、1事業につき1編提出すること。

【⑥地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」の参加申し込みに必要な書類】

- ・ガールスカウト日本連盟海外研修申込書（成人用）
- ・様式I 参加申込書（※様式は内閣府ホームページ（<http://www.cao.go.jp/koryu/>）よりダウンロードすること。パソコンのワープロソフトによる作成を推奨。）
- ・様式II 作文（日本連盟に提出された作文を内閣府にそのまま提出します。※パソコンのワープロソフトによる作成を推奨）

テーマ：応募者自身が、

- 1) 組織や団体に活動している際に、その組織・団体の運営面および活動面について問題や課題と考えていること
- 2) それらに対する解決・対応手法として考えられること

という点を中心に具体的に記述する。題名は自由。

字数：1,200 字以内（題名、氏名は字数に含まない）

書式：縦 A4 判横書きとし、題名・氏名及び字数を明記する。

- ・健康診断書 ※2018 年 4 月以降に受診したもの（様式は問わない）
- ・様式 III 推薦書（地域コアリーダープログラム）は日本連盟にて作成します。

※提出書類は、片面印刷としてください。

※第 1 次選考として、提出された書類をもとにガールスカウト日本連盟で選考後、内閣府への推薦者を決定します。この第 1 次選考の結果については、都道府県連盟に日本連盟からお知らせします。

※内閣府へ推薦された応募者については、内閣府による書類選考を経て、第 2 次選考の受験者が選考されます。内閣府で実施する第 2 次選考の受験の可否および受験が認められた場合の第 2 次選考の詳細については、試験実施日の約 1～2 週間前に内閣府から応募者本人に連絡があります。

内閣府による第 2 次選考について

第 2 次選考の方法や日程は事業によって異なります。受験者が認められた場合は、内閣府から応募者本人への通知にて、試験日等詳細が連絡されます。

第 2 次選考について日本連盟からの連絡はありませんので、内閣府からの通知をよく確認してください。

- ① 「東南アジア青年の船」事業（面接試験、語学試験：英会話、教養試験、小論文）
- ② 「世界青年の船」事業（面接試験、語学試験：英会話、教養試験、小論文）
- ③ 国際青年育成交流事業（面接試験、語学試験：英会話、教養試験、小論文）
- ④ 日本・中国青年親善交流事業（面接試験、教養試験、小論文）
- ⑤ 日本・韓国青年親善交流事業（面接試験、教養試験、小論文）
- ⑥ 地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」（面接試験）

※第 2 次選考の結果は、2020 年 6 月中旬～7 月上旬までに合格者の受験番号が内閣府ホームページに掲載されます。